

2023年5月18日

日本銀行岡山支店

岡山県金融経済月報

1. 概況

県内景気は、海外経済の減速等の影響を受けつつも、ペントアップ需要の顕在化等に支えられて、緩やかな回復を続けている。

最終需要をみると、個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、サービス分野を中心に緩やかに増加している。企業の業況感は海外経済の減速や既往の資源高の影響などから改善に足踏みがみられるが、設備投資は増加している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、持ち直している。

県内主要製造業の生産は、海外経済の減速等の影響から、弱めの動きが続いている。

雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まっており、雇用者所得は緩やかに改善している。

2. 実体経済

(1) 最終需要

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、サービス分野を中心に緩やかに増加している。

百貨店・スーパー売上高は、外出機会の増加を受けた需要の増加がみられるが、物価上昇の影響もあって、足もとでは横ばい圏内の動きとなっている。乗用車販売は、供給制約の影響が和らぐもとの増加基調にある。家電販売は、弱めの動きとなっている。

この間、主要観光地への入り込みは、ペントアップ需要の顕在化が本格化するもとの増加している。

設備投資は、増加している。

3月短観調査における県内企業の設備投資額（全産業）は、2022年度、2023年度ともに増加計画となっている。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

公共投資は、持ち直している。

(2) 生産

県内主要製造業の生産は、海外経済の減速等の影響から、弱めの動きが続いている。

主要業種の生産動向をみると、化学や鉄鋼は、中国経済の減速等の影響から、なお弱めの動きとなっている。電気機械は、スマートフォンやパソコン等のグローバルな需要の減退から、減少を続けている。この間、輸送用機械は、供給制約の影響が和らぐもとので、持ち直している。

(3) 雇用・所得

労働需給は引き締まっており、雇用者所得は緩やかに改善している。

(4) 物価

消費者物価（岡山市、生鮮食品を除く総合）の前年比は、3%台半ばとなっている。

3. 金融

県内実質預金、県内貸出は、ともに緩やかに増加している。貸出約定平均金利をみると、ストックベースでは緩やかな低下傾向が続いているが、新規実行ベースでは下げ止まっている。

以 上

内容についてのご照会は下記までお願いします。

〒700-8707 岡山市北区丸の内 1-6-1

日本銀行岡山支店総務課 電話 086-227-5111（代表）

ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/okayama/>



知る ぼると
岡山はこちら!!

